

LEXUS ECOLOGY

環境性能は、この星の未来のために。

レクサスは、人や社会や地球の未来のために、ハイブリッドなどの最先端技術で環境問題に 대응していきます。燃費や排出ガスを低減する技術開発にとどまらず、「Eco-Vehicle Assessment System」と呼ぶ環境性能評価システムを活用し、生産・使用・廃棄のすべての過程で環境負荷の低減をめざしています。各段階での環境への影響を評価するライフサイクルアセスメント(LCA)を実施した結果、CO₂、NO_xなどの排出量の低減を実現しました。また、燃費、排出ガス、リサイクル、環境負荷物質の各分野でもトータルに改善を図っています。

■ ライフサイクル全体でCO₂排出量を低減

IS全車で素材製造・車両製造・走行・メンテナンス・廃棄の過程トータルでCO₂排出量の低減を図っています。その中で、IS300hが搭載するハイブリッドシステムは、走行時のCO₂排出量を大幅に低減するため、より有効なCO₂低減方法のひとつといえます。

■ CO₂低減のための徹底した低燃費化

CO₂排出量を低減するため、IS300hではハイブリッドシステムのすぐれた再生効率を実現し、IS300h、IS300にはアイドリングストップ機能を採用。また全車にわたり、ECOドライブモードを設定し、ヘッドランプをはじめとするランプ類にはLEDを採用しています。

■ 環境対応車 普及促進税制に適合

環境に対する多様な取り組みにより、IS300hで「2030年度燃費基準75%^{*1}または80%^{*1}」を達成。また、IS300hは「平成30年基準排出ガス75%低減レベル」、IS350、IS300は「平成30年排出ガス規制適合」の認定を国土交通省より取得。IS300hは環境対応車 普及促進税制の適合車として、新車購入時に自動車重量税の軽減措置^{*2}が受けられます。

■ VOCの低減

内装部品の素材、加工法や接着剤の見直しにより、揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制し、車室内の臭いや刺激臭を軽減するなど、業界自主目標を達成しています。

レクサス IS350 / IS300h / IS300環境仕様

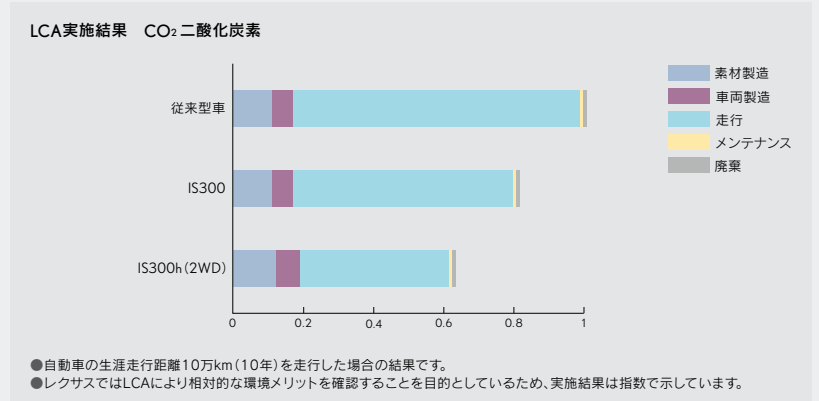
	IS350		IS300h				IS300	
	"F SPORT"	"version L"	"F SPORT"	"version L"	"F SPORT"	"version L"	"F SPORT"	
車両仕様	車両型式 3BA-GSE31	"version L" 6AA-AVE30	"F SPORT" 6AA-AVE30	"version L" 2AR-FSE	"F SPORT" 2AR-FSE	"version L" 6AA-AVE35	"F SPORT" 6AA-AVE35	
エンジン	型式 2GR-FKS	2GR-FKS	2GR-FKS	2AR-FSE	2AR-FSE	2AR-FSE	2AR-FSE	
	総排気量(ℓ) 3.456	3.456	3.456	2.493	2.493	1998	1998	
	使用燃料 無鉛プレミアムガソリン	無鉛プレミアムガソリン	無鉛プレミアムガソリン	無鉛レギュラーガソリン	無鉛レギュラーガソリン	無鉛プレミアムガソリン	無鉛プレミアムガソリン	
駆動装置	駆動方式 後輪駆動	後輪駆動	後輪駆動	後輪駆動	4輪駆動	後輪駆動	後輪駆動	
	トランスミッション 8-Speed SPDS(電子制御8速オートマチック)	8-Speed SPDS(電子制御8速オートマチック)	8-Speed SPDS(電子制御8速オートマチック)	電気式無段変速機	電気式無段変速機	8-Speed SPDS(電子制御8速オートマチック)	8-Speed SPDS(電子制御8速オートマチック)	
車両重量(kg)	1,660~1,680	1,690~1,720 [1,730]	1,690~1,720	1,780~1,790	1,780~1,790	1,640~1,670	1,640~1,660	
環境情報	燃料消費率 WLTCモード 走行 CO ₂ 排出量(g/km)	10.7 217	18.0[17.9*4] 129[130*4]	18.0 129	16.2 143	12.2 190	12.2 190	
	参考 主要燃費改善対策	— 筒内直接噴射、可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング	— 筒内直接噴射、可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング	— ハイブリッドシステム、電気式無段変速機、 アイドリングストップ装置、 筒内直接噴射、可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング	— ハイブリッドシステム、電気式無段変速機、 アイドリングストップ装置、 筒内直接噴射、可変バルブタイミング、 電動パワーステアリング	— アイドリングストップ装置、筒内直接噴射、 可変バルブタイミング、 充電制御、電動パワーステアリング	— アイドリングストップ装置、筒内直接噴射、 可変バルブタイミング、 充電制御、電動パワーステアリング	
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省) 認定レベル値または 適合規制値(g/km)	平成30年排出ガス規制適合*5 CO 115 NMHC 0.10 NO _x 0.05	平成30年排出ガス規制適合*5 CO 115 NMHC 0.10 NO _x 0.05	平成30年排出ガス75%低減レベル*5 CO 0.025 NMHC 0.013 NO _x 0.013	平成30年排出ガス75%低減レベル*5 CO 0.025 NMHC 0.013 NO _x 0.013	平成30年排出ガス規制適合*5 CO 115 NMHC 0.10 NO _x 0.05	平成30年排出ガス規制適合*5 CO 115 NMHC 0.10 NO _x 0.05	
車外騒音	加速/定常/近接*6(dB)	71(規制値) / - / 76	71(規制値) / - / 76	71(規制値) / - / 67	71(規制値) / - / 67	70(規制値) / - / 73	70(規制値) / - / 73	
冷凍の種類(GWP値)/使用量(g)				HFO-1234yf(1*7) / 570	HFO-1234yf(1*7) / 570			
環境負荷物質削減	鉛 水銀 カドミウム 六価クロム			自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*8) 自工会自主目標達成(2005年月以降使用禁止*9) 自工会自主目標達成(2007年月以降使用禁止) 自工会自主目標達成(2008年月以降使用禁止)	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*8) 自工会自主目標達成(2005年月以降使用禁止*9) 自工会自主目標達成(2007年月以降使用禁止) 自工会自主目標達成(2008年月以降使用禁止)			
車室内VOC	リサイクルしやすい 材料を使用した部品 TSOP TPO ケナフ PET再生フェルト			自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*10以下) バンパー、インストルメントパネル、フロアカバー、リヤコンソールボックスなど ドアトリムなど バツケージトリム ダッシュサイレンサー	自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値*10以下) バンパー、インストルメントパネル、フロアカバー、リヤコンソールボックスなど ドアトリムなど バツケージトリム ダッシュサイレンサー			
樹脂、ゴム部品への材料表示				あり	あり			

■ 環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界自主目標を達成しています。

■ リサイクルの推進

持続的な循環型社会の構築に向けたリサイクルビジョンのひとつ、「2015年目標リサイクル実効率95%」を実現しています。開発から廃棄まで、クルマのライフサイクル全体で可能な限り資源の再利用を推進しています。



HARMONIOUS DRIVING NAVIGATOR

エコドライブを喜びに変えていく

「ハーモニアスドライビングナビゲーター」。

■ きめ細かくエコドライブをサポート

ハーモニアスドライビングナビゲーターは、クルマと自然の共生を願うドライバーの想いに応える、レクサスならではのシステムです。「乗って・比べて」と、ドライバーにエコドライブの喜びをさまざまに感じていただきながら、エコドライブを継続して行えるようにサポートします。

■ 地球と調和しながら走る“楽しさ”

ハーモニアスドライビングナビゲーターの画面に、エコレベルメーターや毎分燃費を始めとする情報をリアルタイムで表示し、ドライバーのエコドライブをサポートします。エコレベルメーターは、環境に配慮したアクセル操作を示すエコエリア、およびチャージエリア^{*11}での走行時間に応じて増減し、メーターが上がると「Good」「Excellent」とレベルも上昇。エコドライブを楽しく身につけられる仕組みとなっています。エコエリア、およびチャージエリアの範囲内で運転を続けたり、Ecoドライブモードを選択することでエコドライブの継続が可能です。

*1. 省エネ法に基づき定められている燃費目標基準。
*2. 自動車重量税の軽減措置は2023年4月30日までに新規登録を受ける車が対象となります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
*3. 燃料消費率は定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
*4. メーカーオプション装着により車両重量が1,730kg以上の場合。
*5. WLTCモード走行
*6. 平成28年騒音規制
*7. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。
*8. 1996年乗用車の業界平均1,850g(バッテリーを除く)。
*9. 交通安全の観点で使用される部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、テイスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。
*10. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。
*11. チャージエリアはIS300h全車のみ表示。

